







研究者名※	加藤 玄	学位※	博士(文学)
所属※	文学部 史学科	職名※	教授
連絡先	katoumak@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/read0134759">https://researchmap.jp/read0134759</a>		
研究分野※	人文学 / 史学 / ヨーロッパ史・アメリカ史 / ヨーロッパ中世史		
研究キーワード※	フランス / イングランド / 英仏関係 / 中世都市		
共同研究・競争的資金等の研究課題	中世アキテーヌ公領の領域的性格の変遷に関する総合研究(科学研究費・基盤C・研究代表者、2014年- 2017年) 中世後期プランタジネット朝における国王宮廷(科学研究費・若手研究B・研究代表者、2011年-2013年)		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴			

研究領域	人文学 / 史学 / ヨーロッパ史・アメリカ史 / ヨーロッパ中世史	(SDGs)	   
研究テーマ※	中世南フランス都市史／中世英仏関係史／ジャンヌ・ダルク研究		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>①中世南フランス都市史 中世南フランスに多数建設され、「バステード」と総称された小都市群を、建設の背景とその後の変遷を文字史料によって分析し、広場や街路などの景観を現地調査によって研究している。</p> <p>②中世英仏関係史 ノルマン征服から百年戦争に至るまでのイングランドとフランスにおける両王家の政治的・経済的・文化的な関係を、両者の交渉の際に用いられた言説や人的ネットワークの観点から研究している。</p> <p>③ジャンヌ・ダルク研究 百年戦争におけるジャンヌ・ダルクの役割と、その後の歴史叙述における彼女に関する長期的な記憶の継承について研究している。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>①中世に起源を持つヨーロッパ都市の景観が、現在においてどのように保存され、観光資源として活用されているかは、日本においても参考になる事例である。</p> <p>②中世ヨーロッパにおける紛争回避の様々な試みには、現代にも応用できる知見が含まれている。</p> <p>③ジャンヌ・ダルクは、女性参政権を求めるフェミニズム運動や女性のエンパワーメント運動の中で様々に表象されており、ジェンダー史の観点からも様々な議論が可能である。</p>		
本研究関連特許・論文等			
共同研究・外部機関との連携への期待			